

# 釣りの随想…⑥

## 子又の夜釣り

### 大漁であつたが

#### シラ波に遭難(I)

浜田広信 (植田)



昔から大漁であつたときは、天気に注意せねばならないと、漁師仲間では言われている。そのとおりであつた。

終戦間もない年であつた。隣村の久次部落(現土佐山田町久次)に竹崎園吉さんという実年者が居た。若いときから心安く、園さん、園さんと親しくしていた。平時の高知連隊に行き伍長になり、銃剣術が強く班長にもなつていたと聞いた。

この人が大の釣り好きで、物部の町田堰の渡し場に鯉釣りに行き、四十日詰めたと聞いている。

「浦戸湾へ親子又を釣りに行きたい。連れて行ってくれ」との話があり、「それは夜釣りではないけれど釣れん」と言つたところ、以来何回か行つたが存外思うようには大物が釣れん。

ある年、私が麦をまいていたとき、田へ来て「今晚釣りに行こう」と誘われた。「今晚と言っても無理だ。明晩行こう」と約束した。

「ほのほの広場」に、あなたの身の回りのほのほのとした話題や我が家の自慢料理、読書の感想など、お気軽にご投稿ください。  
▼投稿先・〒783 南国市大塚甲三〇一 南国市役所内広報委員会まで。



カット  
川久保尚亮 (金地)

麦まきのころだから十一月中旬であつたと思う。

約束の日、午後から二人で準備して自転車で高知の棧橋まで行き舟屋で餌を買い、競馬場の西側の舟だまりにつないであつた私の持舟に二人で乗り、帆走で浦戸湾口に行き、かねて種崎の海水浴場前で大チヌが釣れておるとの話を聞いていたので、夕方から現場で釣り始めた。

大物であるからそんなにあたらな。一晩に五回あつた三尾取れば上等だ。その晩は二人で五、六回あたり、お互いに大小五歳から三歳ものを三尾ぐらい釣つた。大漁である。夜が明けぬうちに帰ればよい男。あたればおもしろいから朝のしらみ(夜明け前)がよく釣れると、朝まで釣つた。さて夜明け前になった。園さんは眠つたまま竿を海へつけていた。園さんの竿の先を見ておるとグウ

と親子又の引きだ。私が「園さん親が来ておると大声を立てると、園さんは目を覚まし竿を持ち直した。私が「慌ててはいかん三回食い込ませ」とアドバイスした。すると園さんは大事を取つて五回ほど食い込ました。無論掛かつた。なかなかあがらん。五歳の大物だ。ついに浮かしたので、私がすくい取つた。これでおしまいだ。帰ろう。

幸いなことに潮は込み潮で、一気に浦戸の御殿下まで来た。そして、狭島様(今はない)まで来たところ、北方の果山方面を見ると西風と白波が立って漕げそうになり。大事だ。次に袂石まで来た。ますます波と風がえらい(袂石とは昔、弘法大師さんが袂へ入れており過つて海へ落とした石という小岩)。

(つづく)



ご家庭で話し合つて答えてください。答えは、この広報に出ています。

■もんだい・母と子の〇〇〇〇  
○教室が十市、久礼田、白木谷の各地区で開かれました。

■しめきり・9月15日

■あて先・〒783 南国市大塚甲三〇一 南国市役所内広報委員会親子クイズ係

■答えのハガキには必ず、住所氏名、年齢、職業を書いてください。

■賞品・正解者の中から、抽選で五人に図書券を進呈。

#### 第174回当選者発表(敬称略)

(応募総数39通)

- 答え・①
- 当選者 五人
- 徳橋さよ (久礼田)
- 徳橋寛好 (久礼田)
- 中村久江 (前浜)
- 西山美保 (大塚)
- 浜田将克 (里改田)

第174回当選者発表(敬称略) (応募総数39通)

- 答え・①
- 当選者 五人
- 徳橋さよ (久礼田)
- 徳橋寛好 (久礼田)
- 中村久江 (前浜)
- 西山美保 (大塚)
- 浜田将克 (里改田)